

次代を担う2270人



新学群第1期生が入学

2007年度入学式は学類・専門学群が4月9日午前10時から、大学院は午後2時15分から、学生会館講堂で行われる。長年の課題となっていた学群改組を行った今年、2270人の学群新入生が、本学の新しい歴史の第一歩を刻む。大学院は2319人の新入生を迎える。

学群新入生は9-11日に向け、また大学院新入生は9日に新入生オリエンテーションを受ける。

(5-9面に学群・専門学群の入学者名簿)

筑波大学新聞

第260号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

T E L : 029(853)2040・6699
E-mail
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

総合科目 他学類教員24科目で協力
アスベスト工事 法改正に伴い継続へ
副学長インタビュー 腰塚水林両氏に聞く
Student Plaza 1D棟に新設
冬季欧州柔道 3人優勝 世界へ弾み
宿舎入棟 今年度も暗証番号制で

19 16 3 3 2 2

つくばMAP 10,11
抜き出せる大学周辺の地図

特集 12,13
陰に、日なたに—
学生生活を支える裏方たち

改革元年

学群改組を追う

本学は今年度、長年の課題となっていた学群改組を行った。時代が変わり、大学に求められる教育も変化していく中で、本学は従来のナンバークラス制をどう総括し、新体制の下でのような教育を行っていくのか。岩崎洋一学長(写真)に話を聞いた。(本紙・齋藤太二比較文化学類)

——新体制移行後初の新入生を迎えて一言。

今回の学群改組は、大学以来の一大改革だった。一連の改革に取り組んだ教職員に感謝したい。これを機にさらに学群教育を充実させていきたい。

学群改組は受験生に好意的な印象を持たれたように思う。

文理融合を図るという理念は良かった。しかし実際には、各学類が独自性を出している中で、学群内での学類間協力がなかなかうまくいかなかった結果だと思う。

ナンバークラス制の利点と問題点については、情報メディア創成学類など、これまでどこにもなかったような教育組織が誕生する。通常、学部などを新設する場合、内容が不明瞭なことから受験者に敬遠され、初年度は志願者数の減少が見られる。しかしホームページなどでの広報に力を入

うだ。少子化で全国的に大学の志願者が減少しているが、本学は昨年よりも志願者を増やすことができた。8月の大学説明会では、過去最高の9000人規模の来場者を集めることもできた。

ポイントは、本学らしさをいかに発揮するかということだ。学群組織の良いところを生かしていくとともに、社会のニーズに合った組織作りが必要であると考えていた。

類に期待することは、情報メディア創成学類など、これまでどこにもなかったような教育組織が誕生する。通常、学部などを新設する場合、内容が不明瞭なことから受験者に敬遠され、初年度は志願者数の減少が見られる。しかしホームページなどでの広報に力を入

——新設される学群・学

——新体制移行に伴って予想される問題点は、大きな問題としては施設の分散がある。ナンバークラス制に基づいた施設配置のため、春日キャンパスを含む情報学群では、教室移動の問題に配慮していくつもりだ。

——新入生に一言。

学群新体制の第1期生として、新しい歴史を教職員と一緒に作っていくという気概をぜひ持つてほしい。

………

新たな体制へ向けて始めた本学。このシリーズでは4回にわたって学群改組に至った背景とその影響を探る。

志願者数増加に手応え 専門性と学際性両立へ

学長インタビュー

——学長就任から現在にかけて、学群改組に関してどう考えてきたか。

ポイントは、本学らしさをいかに発揮するかということだ。学群組織の良いところを生かしていくとともに、社会のニーズに合った組織作りが必要であると

——新体制移行に伴って予想される問題点は、大きな問題としては施設の分散がある。ナンバークラス制に基づいた施設配置のため、春日キャンパスを含む情報学群では、教室移動の問題に配慮していくつもりだ。

——新入生に一言。

学群新体制の第1期生として、新しい歴史を教職員と一緒に作っていくという気概をぜひ持つてほしい。

………

新たな体制へ向けて始めた本学。このシリーズでは4回にわたって学群改組に至った背景とその影響を探る。

——新入生に一言。

学群新体制の第1期生として、新しい歴史を教職員と一緒に作っていくという気概をぜひ持つてほしい。

………

新たな体制へ向けて始めた本学。このシリーズでは4回にわたって学群改組に至った背景とその影響を探る。

——新入生に一言。

学群新体制の第1期生として、新しい歴史を教職員と一緒に作っていくという気概をぜひ持つてほしい。

………

新たな体制へ向けて始めた本学。このシリーズでは4回にわたって学群改組に至った背景とその影響を探る。



大学会館リニューアル 本学の新たな名所に 学術や体育の功績を展示

来校者が立ち寄る名所となることを目指して、大学会館のリニューアルが進められている。完成は6月末の予定だ。

同リニューアルは、昨年9月に「大学会館エリアの整備に関するワーキンググループ」(リーダー：吉武博通副学長)が設置され、計画が進められてきた。

リニューアルの目玉となるのは大学会館展示室(仮称)だ。これまで置かれていた「朝永記念室」と「白川英樹名誉教授室」を集約し、江崎玲於奈博士のコーナーを新設。それぞれノーベル物理学賞と、ノーベル化学賞を受賞した功績を紹介する。体育スポーツ史料展示コーナーでは、本学関係者がオリンピックで獲得したトロフィーなどを展示する。石井コレクション展

展示室では、「図書館流通センター」の石井昭会長から05年に寄贈された美術品86点を順次展示する。大学展示コーナーでは、写真などを交えた本学の年表などを展示する。

リニューアルでは、これまで喫茶室だった場所をギャラリーにし、外国の作家や芸術の教員などの発表の場とするとも考えている。また、ホイイェやエンディアの誤った記述に行き着いた「ウィキペディア」は「信頼される質も量も史上最大の、フリーな百科事典」を目指し01年に米国で作られた。オンライン上の利用者なら誰でも書き込みや修正ができる。出典の明記義務化や反論掲載など記事の中立性を保つ工夫がされているが、情報の信頼性については完全ではない▼友人同士でも、試験の日時や範囲など大事な情報は間違えて伝えないよう気を遣うものだ。レポートや試験で論述するときも情報源の信頼性に責任を持たなければならない▼ウェブは手軽に幅広い関心を持つが、頼りすぎはどうか。コピー&ペーストを防ぐためにレポートを手書きに限定する教員もいる。学生は面倒だと漏らす自分で考える意義は大きい▼「編纂三絶」という故事成語がある。とじていた糸が3回切れるほど書物を読むという意味だ。文献をあまり、読み込んだ昔の学者は偉大に感じられる。新入生は、240万冊以上の蔵書を持つ附属図書館にぜひ足を運んでみるこい。

筑波の孔

米国のミドルベリー大学史学部では今年1月、学生のレポートや試験で「ウィキペディア」の引用を禁止した。昨年12月、日本史の学期末試験で、数人が鳥原の乱」に関して同じ間違いを記述。不思議に思った教授が間違いをたどったところ、ウィキペディアの誤った記述に行き着いた▼ウィキペディアは「信頼される質も量も史上最大の、フリーな百科事典」を目指し01年に米国で作られた。オンライン上の利用者なら誰でも書き込みや修正ができる。出典の明記義務化や反論掲載など記事の中立性を保つ工夫がされているが、情報の信頼性については完全ではない▼友人同士でも、試験の日時や範囲など大事な情報は間違えて伝えないよう気を遣うものだ。レポートや試験で論述するときも情報源の信頼性に責任を持たなければならない▼ウェブは手軽に幅広い関心を持つが、頼りすぎはどうか。コピー&ペーストを防ぐためにレポートを手書きに限定する教員もいる。学生は面倒だと漏らす自分で考える意義は大きい▼「編纂三絶」という故事成語がある。とじていた糸が3回切れるほど書物を読むという意味だ。文献をあまり、読み込んだ昔の学者は偉大に感じられる。新入生は、240万冊以上の蔵書を持つ附属図書館にぜひ足を運んでみるこい。

他学類教員24科目で協力 3学期アンケートまとまる

今年度から一新して開設される総合科目の詳細が決まった。14科目のうち新しく開設される科目が80科目、内容を大幅に変更した科目が18科目となった。新総合科目の特徴の一つである、他学類・他学類の教員に協力を依頼した科目は24科目で、全体の17%にとどまった。

他学類・他学類の教員に協力を依頼した24科目のうち、同じ学群内の他学類所属教員に協力を依頼した科目は6科目。そのうち人文・文化学群が5科目、社会・国際学群が1科目で、それ以外の学群では見られなかった。他学類所属教員に協力を依頼した科目は18科目。生命環境学群と理工学群が4科目で、次いで人文・文化学群が3科目、経済学群が2科目、理学・工学群が1科目であった。

総合科目編成委員長の山田宣夫教授(人文・文化学群)は、「自分の学群・学類だけで担当教員を賄っていきることが多い。教授が管理・運営に追われ、教養教育に対する教員の意識改革も十分とは言えない現状を打破したい」と話した。

3学期にマークシートを使って実施された総合科目の授業評価アンケートの結果がまとまった。対象となったのは3学期に開設された53科目のうち50科目。該当科目の受講者4306人中3993人が回答した。総合科目の中には、学生

文化学群と医学群が3科目だった。総合科目編成委員長の山田宣夫教授(人文・文化学群)は、「自分の学群・学類だけで担当教員を賄っていきることが多い。教授が管理・運営に追われ、教養教育に対する教員の意識改革も十分とは言えない現状を打破したい」と話した。

3学期にマークシートを使って実施された総合科目の授業評価アンケートの結果がまとまった。対象となったのは3学期に開設された53科目のうち50科目。該当科目の受講者4306人中3993人が回答した。総合科目の中には、学生

法改正に伴い継続へ 再調査8つの棟で含有確認

07年3月末までの完了予定で進んでいたアスベスト除去工事が、法改正により今年度以降も実施されることになった。

07年3月末までの完了予定で進んでいたアスベスト除去工事が、法改正により今年度以降も実施されることになった。

07年3月末までの完了予定で進んでいたアスベスト除去工事が、法改正により今年度以降も実施されることになった。

平成18年度卒業式

学群生2322人巣立つ

平成18年度の学類・専門学群と理療科教員養成施設の卒業式が、3月23日午前10時から大会館講堂で行われた。例年より早い春の訪れと共に、学群・学類生2322人、理療科教員養成施設から20人が巣立ちの日を迎えた。



学位記を授与される卒業生(大会館講堂で)

の満足度の低い科目も少数ながら存在する。また、受講者が50人未満だったり、受講者の大半が開講していない

る学類・専門学群の学生であるといった問題も指摘されてきた。山田教授は「新総合科目では、受講者の所

属学類や、受講者数の偏りについての情報も集め、総括を行いたい」と話した。

HPリニューアル

本学ホームページのデザインが一新された。トップページに本学の正門の画像を掲載し、スクールカラーの紫を多用するなど、「本学らしさ」を強調した。また、トップから各学群や21



リニューアル後のトップページ

は、既成概念にとらわれな

と信じており、と述べた。

オープンコースウェア開設

講義や授業内容を詳細に知ってもらい、広報活動や社会貢献活動につなげようと、本学では「筑波大学オープンコースウェア(OCW)」の公開を4月1日から開始した。数理物質科学研究科の8コースを掲載している。

OCWは、大学などの高等教育機関において提供された講義ノートや試験問題など、授業・講義に関する情報すべてを無償で公開するもの。社会全体で知

ることで、大学などの高等教育機関において提供された講義ノートや試験問題など、授業・講義に関する情報すべてを無償で公開するもの。社会全体で知

ることで、大学などの高等教育機関において提供された講義ノートや試験問題など、授業・講義に関する情報すべてを無償で公開するもの。社会全体で知

学校教育法改正 教員の職名を変更 助教授は「准教授」に

大学の教員組織の見直しを含む、一部改正された学校教育法が、4月1日に施行された。新学校教育法では、助教授に代えて「准教授」を設けるとともに、助手のうち主として教育研究を行う教員のために「助教」を新設した。

これまで大学教員の基本的な職として、教授、助教授、助手があった。しかし、従来の「助手」の位置づけがあいまいであるとして、自ら教育研究を行うことを

主たる職務とする「助教」と、主に教育研究の補助を行う「助手」に分割した。助教については、実態にふさわしい位置づけを与えることなどを目指し、「准教授」と位置づけた。

教授、准教授および助教の職務内容は、学生の教育と研究指導、研究への従事を共通とした上で、必要な知識、能力などによって区別される。

本学においては、4月1日付けで、該当する大学教員の職名が変更された。准教授については職務の実態が助教授と変わらないことから、処遇は変わらないことと考えられる。講師については、大学の判断により置くことができ、教授および准教授に進ずる職務に従事するものとしている。

2000万円を着服 職員を懲戒解雇

本学東京キャンパス(東京・文京区)で会計事務を担当していた男性職員(40)が現金約2千万円を着服していたことが、本学の調査で発覚した。同職員は3月14日付けで懲戒解雇となった。

調べによると同職員は、03年6月から06年3月までの間、本学が建物の一部を賃している団体などから光熱費として受け取った現金約1200万円と、物品の購入代金の支払い業務において本学の預金口座から無断で引き出した現金約800万円を着服。着服は数十回以上にわたり、関係書類の偽造も行われていた。

今回の着服は、昨年6月末に報告された17年度決算で、本学が立て替えていた光熱費の未回収残高がその後減少していなかったことから発覚した。今年から具体的な調査を開始し、2月初めに同職員に事情調査を行ったところ、犯行を認めたといい、

1946年東京文理科大学大東文学部助教授、63年同大文学部助教授などを経て、74年本学現代語・現代文化学系教授、84年本学退職、同年上越教育大学教育学部教授、90年江戸川大社会学部教授、95年同退職。96年勲三等旭日章受章。

二次試験
全体では倍率増
数学類は1.4倍

07年度の個別学力検査が、前期日程は2月25、26の両日、後期日程は3月12日に行われた。

全体の志願倍率を見ると、前期は昨年より0.1ポイント増加して3.6倍、後期は0.7ポイント増加して10.7倍となった。倍率のトップは前期・後期ともに社会学で、前期が7.7倍、後期は24.8倍だった。

合格率91.8%

医師国家試験
厚生労働省は3月29日、医師国家試験の合格者を発表し、本学からは97人(内卒業生2人)が受験し、89人(同2人)が合格した。合格率は91.8%だった。

安藤和昭氏(あんどう・かずあき)は本学名誉教授。3月16日午前9時11分、心室細動により死去、72歳。喪主は長男・史朗さん。

1962年京都大学大学院工学部助手、64年同大助教授、65年同大工学博士、80年本学電子・情報工学系教授、98年退職、同年本学名誉教授。

大内茂男氏(おうち・しげお)は本学名誉教授。3月22日午前2時7分、肺炎により死去、86歳。喪主は妻・貞美さん。

1946年東京文理科大学大東文学部助教授、63年同大文学部助教授などを経て、74年本学現代語・現代文化学系教授、84年本学退職、同年上越教育大学教育学部教授、90年江戸川大社会学部教授、95年同退職。96年勲三等旭日章受章。

退職教員・OGに聞く 筑波大学新聞って どんなところ?

いざ潜在能力開花の場へ

天野勝文・元本紙編集委員長



「いまから21年前」といって手にする新入生諸君が生まれる2、3年前のことになるが——私は毎日新聞論説委員から筑波大学教員に転職、着任と同時に「筑波大学新聞」の世話役をするようになった。

それから10年余り。講義「筑波大学新聞」の編集

大学を超えた多くの出会い

中田絢子・元本紙編集長

学生生活の事件・事故にスポーツ、大学の取り組み——、3年間で書いた記事は1000本以上です。学内・学外を問わず、取材で出会った人も200人を超えます。

中でも印象的だったのは、2年生の秋に取材した宿舎のマスターキー紛失事件です。友人からのメールで第一報を聞きつけ、警察より早く現場に駆けつけました。

3年生の5月には、被害学生10人以上、被害総額100万円以上のものほった、2件の連続借付詐欺事件を、一面大きく報じました。

3カ月以上事件を追いかけて、ついに容疑者の電話番号と住所を入手しました。ラグビー部の友人を用心棒にして取材に行くか迷っ



やゼミのかたち、学生諸君と新聞づくりに苦楽を共にした。その間、数え切れないほどの学生・教員・職員の方々の協力を得て、発展途上にあった筑波大学のキャンパス紙として、それなりの役割を果たすことができたのではないかと思っている。

筑波大学が「国立大学法人」として再スタートした現在、「筑波大学新聞」は大学内の、そして大学と社会を結ぶコミュニケーションの場として、ますます期待されていると思う。それだけに編集部としての仕事の達成感は大々かになっていくと思われ。

年に8回の発行とはいえ、新聞づくりにかなりのハードなのは、コンピュータ化が進んだいまでも、たぶん変わっていないはずだ。

「元現代語・現代文化学系教授」

「筑波大学新聞」の編集にどうもまず、むしろ大学と今の社会のつながりを浮かび上がらせていく、そんな記事が書ければと思ってきました。取材の範囲に制限はありませんから、やる気さえあればその枠を超えて、大学や社会、人間ドラマに出会うことができると思います。

4月からは、新聞記者として働き始めます。そこには大学新聞とはまた違った社会人としての現実や厳しさがあると思います。壁にぶつかるときは、未知のものに遭遇したときの気持ちと、新聞で出会った仲間たちの顔を思い返すようにしましょう。

(朝日新聞社山崎局勤務・平成18年度比較文化学類卒)

大学新聞編集室へようこそ♪



【原稿チェック】
編集長・副編集長が原稿をチェックし、推敲していきます。場合によっては再取材も。

【原稿執筆】
取材した情報を基に原稿を執筆します。記者の一大仕事!

【割付②】
①でレイアウトした通りに「インデザイン」というソフトで紙面を組みます。

【割付①】
実寸大の紙で新聞のレイアウトを決めていきます。

【取材・写真撮影】
編集会議で決まった企画、記事について各自取材を進めます。話を聞いて質問したり写真を撮ったり、内容はさまざま。

【取材依頼】
教授やスポーツ連盟などに電話、FAX、メールなどで連絡を取ります。

直される側も真剣です。

ただ「楽しい」だけじゃない。

魅力的な取材相手との出会い
やりがいのある仕事
共に成長していく仲間

急募 学年・所属不問

マスコミに興味がある人はもちろん……

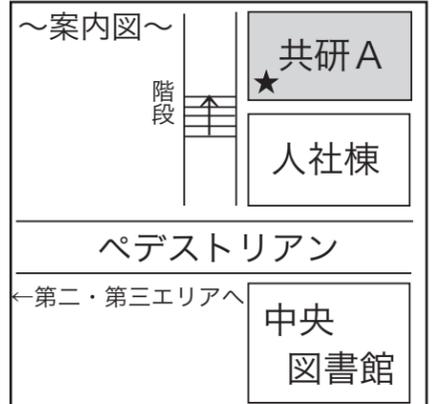
- ・パソコンに強い人
- ・スポーツ取材をしたい人
- ・科学ジャーナリスト! 理系!

……などなど

君の個性をここで生かそう!

場所 共同研究棟 A104
編集会議 毎週月曜午後6時半～
TEL: 029-853-6699
e-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
WEB版: http://www.tsukuba.ac.jp/koho/booklets/website/

新人記者募集



学生の快適な大学生活は、数多くの人に支えられて成り立っている。陰に日なたに、学生のために日夜働いている人々。そんな裏方たちの日常と、学生への思いを探った。(本紙・藤井沙織II社会学類、齋藤龍太II比較文化学類、水田武人II日本語・日本文化学類、篠崎真希II国際総合学類、小笹諒介II体育専門学群)

警備会社 ライジングガン

紺色の制服を身にまとい、今日も学内の安全に目を光らせているのは、本学を守り続けて6年になるライジングガン(本社II東京・渋谷区)の50人の警備員たちだ。

警備員の1日は朝6時から始まる。学内の教室の鍵を開けて回り、自転車の整理をしながら登校してきた学生にあいさつをする。24時間体制で学内を見回り、夜にはまた施設のために学内を忙しく歩き回る。学内の鍵をすべて閉めるには手分けしても2時間はかかるという。管理する鍵の本数は707本にもなる。

日常勤務の間に事故や事件に対応する。学内で警備機が鳴っているという連絡があれば、「瞬時に空気が変わり、現場に急行する。



管理する鍵の本数707本 子犬を引き取る隊員も

「安全を確認すると、ほっとした感じがする」と話す。胸をなでおろすと話。パトカー、自転車、徒歩での見回りでは、見慣れない人物や車など風景のちょっとした変化にも違和感を感じるという。毎日学内を見回している隊員だからこその気づきだ。本学は出入り口が無数にあるため、見回りは厳重にならざるを得ない。

一見平和に見える大学生活の中でも、事件や事故は起きる。研究室や宿舎で、ぼやろプでの交通事故、滑る路面での自転車転倒事故。人間不信になった子犬を保護して引き取り手を探したが見つからず、隊員が引き取ったこともあるという。そういった事件・事故への対応には、その都度柔軟性が要求される。

犯罪は起きてからでは遅い。「学生にはもっと防犯意識を持ってほしい」と責任者の谷中哲也さんは言う。大学周辺に乱雑に停め

平砂食堂

平砂兵用棟1階にある平砂食堂の朝は、ビュッフェ形式の朝食から始まる。開店の朝8時になると、朝練を終えた運動部の男子学生や宿舎に住む学生などで食堂がいっぱいになる。平日に昼食、夕食を提供するのはもちろん、土日も営業しているのは、一人暮らしの学生にとって強い味方だ。多いときには1日200人が利用する。

平砂食堂・平砂喫茶を手がけているのは、給食・喫茶運営事業を手がけるEYXサービス(本社II千葉・野田市)だ。エリアマネージャーの松井三男さん、チーフ、そして4人のパートで切り盛りしている。全てのメニューは手作り。人気持ちよへ、お腹いっぱいになるまで食べてもらいたい



運動部向けボリューム重視 アンケートでサービス向上

学生の要望を知るために、年に1回、2学期にアンケートを実施している。それを踏まえて春季休業日には空閒レイアウトを提案、メニューも見やすくし、明るいイメージに改装した。

今月はスプリングフェアも実施する。4月13日には、利用者にミニケーキを1個サービスする予定だ。「今後

とを心がけて提供している。松井さんは「筑波大生は元気で礼儀正しい学生が多い」と話す。

平日の朝8時から9時まで実施している朝食サービスでは、「飯とみそ汁を1皿盛り放題で提供している学生が多いと思うが、自炊している学生は少ない」と話す。

メニューは定番のカレー、ハンバーグ、ハヤシライスのほか、日替わり定食

も提供している。一番人気は唐揚げ定食だ。運動部の学生の利用が多いことから、平砂食堂ではボリュームを重視している。また通常の半額程度で、「ミニサイズ」の小鉢やサラダなども提供しており、女性客に好評だ。揚げ物や魚、肉でボリュームが多いため、野菜も増やして栄養バランスに配慮することも欠かさない。

陰に、日なたに

学生生活を支える 裏方たち

小田倉輪店 追越支店

「学生と話していると若返った気分になるんです」と追越の自転車屋のオバチャンこと小田倉白子さんは嬉しそうに話す。

小田倉輪店の追越共用棟支店は、1992年に開店した。小田倉さんは開店したころから一人で支店を切り盛りしている。それ以前は、公務員として市内の研究所で事務の仕事をしていて、家庭の事情で自転車屋を手伝うようになったという。

営業時間は月、火、木、金が正午から午後7時まで。水曜日は正午から午後5時まで、午後5時半から午後7時の間は「の矢宿」で営業を行っている。また、土曜日は不定期で店を開くこともある。長期休業の間は、一日に数人しか客が来ないこともあるが、学生のために店を開け続けている。

14年間仕事を続けられる秘訣は「自分の子どもぐらいの歳の学生が利用してくれるから」。また、「毎日学生特有の旅行に行った話やサークル、勉強などの話を気兼ねなく聞くのが楽しい。『新鮮な』と語る。自転車屋の中でもこれほど学生とのコミュニケーションがある店はないという。もちろん自転車屋の仕事が好きなという。『車のバッテリーがあがってしまったなど些細なことでも、学内で困ったことがあったら対応します。近くにある非常電話から通報すれば警備室につながるの、遠慮なく相談してください』と笑顔で話す警備員一同。学内を隅々まで知り尽くした隊員たちのおかげで、学内の安全は守られている。



「本学生の足」を直し14年 学生との会話も楽しみに

小田倉さんは「うちで売った自転車が修理になると少し悲しい」と話す。「世界で一つだけの自分の自転車に愛着を持って、大切に使用してほしい」と訴える。学生の笑顔や生活を支えるために、今日も手弁当で小田倉さんの生活が始まる。

「本学生との会話も楽しみに」と語る。小田倉さんは「うちで売った自転車が修理になると少し悲しい」と話す。「世界で一つだけの自分の自転車に愛着を持って、大切に使用してほしい」と訴える。学生の笑顔や生活を支えるために、今日も手弁当で小田倉さんの生活が始まる。

附属図書館

「開かれた図書館」がコンセプトの本学附属図書館は、昨年3月、新たな図書システムを導入した。その一つが「くまびりポッド」だ。学位論文や研究報告書など、印刷媒体で提供されてきた研究成果、著作権の許諾の取れたものから電子化し、学内外問わず誰もが簡単に閲覧できるようにした。本学の研究成果を広く世界に発信することが目的だ。

このシステムは昨年3月、それまで運用されてきたシステムを更新し、導入に至った。その中心となったのが、情報管理課電子図書館係(係長II山本淳一さん)だ。電子図書館係は、図書館にある機器管理から、図書館システムの運用、



世界へ向けて進む電子化 附属図書館の進化支える

図書の電子化まで、多岐にわたる情報化事業の中心となっていた。今年3月、システムの更新で検索機能を強化。複数のデータベースや電子ジャーナルを一度に検索することや、9月にはウェブページを更新。コンテンツを充実させ、新たな追加した。そのほかに、トップページには検索機能などの各種サービスをするなど、いろいろな場面をサポートする機能が弱い。図書館のサイト内だけで、文献・資料調査から論文の執筆・保存まで、論文作成におけるすべての行程が行えるようになれば、より充実したサービスとなるはずだ。

「図書館のサービスを、利用者にとってわかりやすく使いやすいものにする」と山本さん。98年に電子図書館システムが導入されて以来、情報化に伴って図書館の利用方法も進化を続けている。

反射鏡

村社会でも

住めば都に

永田大輔(社会学2年)
「いっほ……監獄?」宿舎を初めて見た人のおそろく8割以上は、これと同じことを考えたのではないだろうか。しかし、住めば都とは言うもので、ここに住み始めて1年が経とうとしている。相変わらず自炊はできないし、手狭ではある。しかし、今年も案外と楽しく宿舎生活を送れそうである。

さて、筑波大学の特徴は宿舎に象徴されるように良き友がアソビなして来たり

もする。「カフオケ」いや、ごせている気がするような俺明日二二限があるのですが……駄目ですか、そんなのかと聞かれたらあまりまあ、こんな感じでそれなりに楽しい大学生活を過ご



今月のテーマ
筑波生活の魅力

健康的な日々

澤田洋平(生物2年)

自分がつくばに来て、良かったと思えることはいろいろあります。例えば、筑波大学の周辺には、スーパーマーケットや洋服屋、本屋、コンビニやホームセンターまで揃っていて、ぜいたくさえしなければ生活には困りません。メディカルセンターや大学附属病院もあり、消防署も近くにあり、治安や交通マナーの悪いところでも、これなら安心ですよ。

離れて感じる

井上君子(社会学3年)

実家を離れて2年が過ぎようとしている。私がつくば生活の魅力だと感じていることは、人間関係が密であることだ。

私は1年生の時、平砂宿舎に入居した。入居日に初

めて部屋のドアを開けた瞬間、あせんとしたことを鮮明に覚えている。事務機とベッドがぼんぼんとあり、床のタイルははがれカビが生えていた。この部屋で1年間過ごすのか……と目の前が真っ暗になった。そんな私に、隣の部屋に入居した友達が無言で掃除道具を貸して

分は、バイト先まで何十分もかけて行きます。遅れそうなきは、必死にペダルを漕ぎます。こんなことを毎日のように繰り返すうちに体力が付き、病気で学校を休んだことがありません。つくばの生活で最も良かったと思える点は、以前よりも健康になったことで

とができる。共同キッチン、共同トイレ、共同風呂も然り。朝食を友達の部屋で食べ、夜遅くまで(朝まで)ということもしばしば、語り合い、泣き、笑った。私が風邪を引いたら部屋の外に栄養剤を置いておいてくれ、ご飯を作ってくれた。学校を休んで友達に会えなくても、お風呂に行けば友達がいる。今宿舎を出て寂しく感じるのだ。

私は中学生の時から関東に出でさまざまな人と接したいと思っていた。つくばという土地にも都会的なイメージを抱いていたが、実際は違った。高い建造物も多はなく、緑が多い。コンビニもなく、車が少なく、日本だった実家と比べれ

投稿募集

大学新聞では毎月「反射鏡」の投稿を受け付けています。設定したテーマに限らず、本紙への批評、そのほか、大学に関するさまざまな事象に対するご意見を、左記連絡先までお寄せください。学生、教職員の方々の多様なご意見をお待ちしております。

次号のテーマは

外国語教育です

TEL 029-853-6969
e-mail shinbun@tsukuba.ac.jp

筑波時評

冷戦時代には米ソ対立によって機能不全に陥っていた国連は、ポスト冷戦時代において、「国際の平和と安全の維持」を実現できると期待されていた。事実、1991年の湾岸戦争では国際社会が団結してイラクの侵略行為に対して行動し、92年からカンボジアで大規模な平和維持活動(PKO)を展開し、国際秩序の維持に積極的な役割を果たしていた。

国際連合 課題抱える国連運営 新事務総長への期待



鈴木一人

結果であるし、コンボ紛争への介入でも中口の個別利害によって国連決議を得ないまま、武力行使が行われた。逆に、アメリカのイラク攻撃に対して、国連は何もできなかった。つまり国連は常任理事国が一致したときのみ、何らかの行動を取

る難民救済や、人権理事会などさまざまな人権擁護の運動など、世界を少しでも良くしていくこととする活動の拠点であり、国際的な規範を作る場でもある。近年では内戦状況など政府が市民の人権を保護できないような状況にある場合、国

キムン)は、どう取り仕切っていくのだろうか。彼は韓国の外交通商大臣として活躍した人物であるが、強い信念を持つ政治家というよりは調整能力の高い人物であり、大

過去の事務総長は大國、特にアメリカと対立することで期待された役割を果たすことができた。新しい事務総長も、特に官僚主義的効率の悪い国連事務局の改革を求めるアメリカと付き合っていくかなければならない。しかし、アメリカの要求に際して小規模な事務局改革を提案した際、多くの国連加盟国や事務局内部から批判を受け、取り下げざるを得なくなった。このように、潘事務総長の前途は多難である。今後、得意の調整能力を発揮し、大國の干渉をうまくかわしながら、国際的平和と安全の維持に取り組むことを期待する。

(国際・准教授)

留学生の目



イ・スンヨブ

日本に来てもう4年。2年間の大学受験勉強の末、ちょうど5年の今、筑波大学からの合格通知を受け、東京から筑波大学に来て1年が経った。

と東京に行くと他大学の友達を作ったり、筑波大学の良さに気づかないまま、なるべく外に出ていこうとした記憶がある。自分が筑波大学で勉強しながら、また都内の他大学の学生たちとの交流をするたびに感じるものが一つある。それは外部から評価する筑波大学は相当レベルが高い大学である。一方、実際に筑波大生は筑波大学に対する誇りをちゃんと持っていないことである。自分たちが通っている大学に誇りや愛着を持って4年間生活すること、そうではないことの違いは、とても大きいのではないかと。去年から自分が今務めている韓国留学生会のウェブサイトを制作するために筑波大学の優れた歴史を調べてきた。その中で、思い起せば昨年1年生の時わざわざ刺激を受けるために週末はほとん

が、自分が今まで思っていたより相当高いレベルのイメージだということが分かった。全国の大学の中でもまれに見る広大なキャンパス、自分が今まで思っていたより相当高いレベルのイメージだということ

学的にも有名なつくばは研究学園都市の中にある。医学類の総合科目を聞いたたり、体育の授業を受けたり、芸術の制作を学んだり、他大学では味わえない。全国的にも有名なつくばは研究学園都市の中にある。医学類の総合科目を聞いたたり、体育の授業を受けたり、芸術の制作を学んだり、他大学では味わえない。

くはずである。3人のノーベル賞受賞者をはじめ、お隣の韓国でも崔圭夏元大統領(東京高等師範学校卒)や大津教授、研究者など、さまざまなところで活躍している卒業生が少なくない。さらに日本の大学の中で最高のレベルの教員がそろっていると言っても過言ではない。



大学に誇りを持つ

い充実した環境と教育方針が溢れている。学生たちが誇りを持っていかにかに生かしていかにかによって筑波大学の未来は変わっていく。

大学での4年間は私たちの人生や自己発展に大きな影響を与える。その意味で大学は学生たちが作っていくものである。つまり、筑波大生は筑波大学に十分に誇りを持って良いのだ。確かに筑波大学はそれくらいに底力のある多門国立大学である。学生たちが学校に対する誇りと愛着を持つことから学校は良い方向に向かって変化していくこと間違いはない。

(社会学2年・韓国)

ラウド学長講演会

歴史ある街タリンから

EU加盟のエストニア

留学で交流活発に

昨年1月に本学が交流協定を締結したエストニアのタリン大学のレイン・ラウド学長による講演会が2月7日、本学総合研究棟B棟A110教室において行われた。講演会には他大学の学生も含め70人ほどが集まった。

講演会は前半がエストニアのタリンの街とタリン大学について、後半はラウド学長による比較的近代化にも残されている一方、「東欧の経済の奇跡」と言われ、IT技術の発展が目覚ましい。現在世界中で使われているIP電話ソフト「skype」もエストニアで開発された。

今回の講演会は、昨年本学とバルト3国の各首都にある同大学、国立ラトビア大学(ラトビア共和国)、国立ヴィリニウス大学(リトニア共和国)の間で交流協定を締結したことに伴って開かれたもの。バルト3国大学への交換留学は今年4月から1年間、各大学



エストニアの文化、風土などを語るラウド学長

学部の定員は5人で、申し込み先着順により決定する。人文社会科学研究所、地域研究研究所所属の大学院生および人文、日比、比文、自然、情報、園芸の学類生が対象となる。ウィリニウス大学については図書館情報メディア研究科と図書館学が対象となる。エストニアはEUへの加盟により情報専門学群、情報学群知識情報・図書館学類(予定)の学生も対象となる。

講演会の休憩中には、学長がラウド学長に積極的に質問する様子が見られた。高木大吾さん(人社2年)は「EUへの加盟によりエストニアがどう変わっていくのかに興味があり、留学も考えている」と話した。ラウド学長は「学生のみなでなく、研究プロジェクトの共有など研究者の交流も進めていきたい。静かで歴史のある街に留学したいならタリンに来てほしい」と語った。

「歌う生物学者」を招く

少子高齢化に警鐘鳴らす

東京工業大学教授の本川達雄氏を招いての人間学類主催特別講演会「生物学者からみた少子高齢化社会」が2月13日、2B棟412で開催された。学生ら約200人が少子高齢化という、人間学類生に共通するテーマの講演に聞き入り、本川氏は「生命はめぐる」と「一生のうた」の2曲を披露し、「ネズミもゾウも心臓は15億回打って止まる」と歌った。生物の寿命観である「生命はめぐる」と心拍速度との関係から、時間エネルギー消費量をかけた値は、ほぼすべての生物で同じであることがわかっていて、ゾウは70年かけて、ネズミは1年かけて30億ジュールを消費する。本川氏は「次世代の資源を消費している現代の人間は、生物学的なバランスを崩す存在となっている」と警告した。また、少子高齢社会について、自身の生命観である「生命はめぐる」と話した。



初日に行われた予選では29大学123人が3会、演目は伊藤さんのオリジナルの「不動産屋」。

香車亭龍鶴

（まりていりゅうせき）

第4回全日本学生落語選手権策伝大賞が2月24日の両日、岐阜県岐阜市で行われた。本学落語研究会から2人が出場し、香車亭龍鶴(やりていりゅうせき)こと伊藤豪康さん(数物1年)が2年ぶりの2度目の決勝進出を果たし、敢闘賞を受賞した。

古典演目が多い中、老夫婦とその家族の物件探し

での下タバタ劇で会場を沸かせた。伊藤さんは今回の受賞について「桂三枝師匠、立川志の輔師匠ら審査員の見守るなか演じるのは緊張したが、学生らしさで評価してもらえたので」と話した。

伊藤さんは同選手権に第1回大会から毎年出場している。「将来は教師になって、落語で鍛えた話術で生徒に楽しく勉強を教えたい」と語った。

芸術研究科修了展

個性あふれる113作品

大学院の再編のため今年で最後となる芸術研究科修了制作展が、2月6-25日まで、芸術専門学群卒業制作展と併せて、つくば美術館(つくば市吾妻)で開催された。両制作展では、絵画、彫塑、書、グラフィックや工芸など計113点が展示された。約2000人が来場し、目で楽しみ、実際に手で触れ、操作するなどして作品を鑑賞した。

来場者の目を引いたのが、筑波大学芸術賞を受賞した、稲葉剛さんの「Sihouette」。スクリーンの前で風船やラグビーボールを上に放り、タイミングを合わせて特殊な投影機器でスクリーンにそのシルエットを映す。すると、映し出されたシルエットが動物の形になり、動き出すというのだ。芸術OBの男性は「面白い発想だ。応用性や発展性があるので」と語った。

また、生産デザイン分野専攻の卓間正博さんの「無意識的行動の特性に関する研究」に基づいた特殊なボ



来場者は熱心に修了制作を鑑賞した(つくば美術館で)

「専門学群長賞」(芸術研究科長賞)の受賞者は次の通り。▼「筑波大学芸術賞」11松井寿子(日本画) 萩原なみ(デジタルデザイン) 稲葉剛(視覚伝達デザイン) ▼「茗溪会賞」1森本真依子(洋画) 村井美穂(構成) 金紋妹(構成) ▼「専門学群長賞」11鈴木京(芸術学) 吉川ひろみ(版画) 三輪恵美理(彫塑) 小宮山碧(書) 磯田彩(総合造形) 山本涼子(クラフト) 上山礼子(情報デザイン) 岸本健(プロダクトデザイン) 前野逸美(環境デザイン) 須田牧子(建築デザイン) ▼「研究科長賞」11森田卓司(洋画) 岩淵朱音(日本画) 宮坂慎司(彫塑) 高橋佑太(書)

第8回彫塑展 本学生26人が展示 教育・学習・研究成果をそれぞれの立場から問うことを主眼に、毎年開催されている平成18年度「彫塑展」が3月2-7日まで、文化センターBxBビル(東京文京区)の2階BxBホールで開催された。卒業・修了研究作品を中心に、彫塑を専攻する学群、修士課程、博士課程の学生26人が作品を展示した。

第8回を迎えた今回は、教育プロジェクト支援経費で採択された「アートフロンティアプログラム」の一環として、本学附属学校

の児童・生徒が制作した彫塑作品7点も合同展示された。3日には、「彫塑教育の今これから」と題したギヤラリートークが行われた。本学附属小・中・高等学校の児童・生徒や本学生合わせて16人が自分の作品を紹介した。また、各指導者が彫塑教育に関する取り組みについて語った。附属小・中学校の児童・生徒を含め約60人が参加し、実際に作品に手を触れながら意見を交換し合った。

東京・練馬区から来た夫婦は「同じポーズのモデルでも作る人によって表現がさまざま興味深かった」と話した。

柔道の祖 世界と対峙 嘉納治五郎師範に学ぶ 村田直樹著

「今までは日本は種々のことを世界から学んできた。日本も何かを世界に教えねばならぬ」と嘉納が述べたのは昭和2年のことである。この大きな世界観をどう受けとめたらよいのだろうか。話はこのあと「柔道を通して」と続くのだが、それを自分の特技に置き換えて大きな目標を立ててみるのも面白いのではないだろうか。(ヘースホールマガジン社・2400円) (体育・教授)

私は柔道を教えている体育教師である。そして少しは分かったつもりができるかも知れないという理由で本書を選んだ。柔道といえはこの人に極まる。柔道の創始者にして日本スポーツ界の父・嘉納治五郎である。加えて本書の関係者ならば、本学の前身校である東京高等師範学校の校長として二十数年間にわたって師範教育に尽くした貢献も知っておかなければならないだろう。

本書は単なる柔道の本ではない。嘉納が説く「単なる武術や武道ではなく、文武を包含した大きな好の書」と言える。本書の構成では、最初に柔道技術から精神の発展過程が語られるが、途中からは教育家として生きた嘉納の生涯に費やされている。教育を志向する人はこの辺から読んで有益だろう。文は嘉納

「柔道の祖 世界と対峙 嘉納治五郎師範に学ぶ」 村田直樹著

な人間の道」としての柔道が、上手な構成によって紹介されている。近年、柔道の競技偏重を嘆く声は多いが、簡便に答えを探る手だてが少なかつた。たとえスポーツの門外漢であっても、日本人の教養として読むのに値する。柔道が単に格闘技術だけでなく、まらさず、教育的スポーツとして広く世界に受け入れられた理由も理解できるだろう。

「今までは日本は種々のことを世界から学んできた。日本も何かを世界に教えねばならぬ」と嘉納が述べたのは昭和2年のことである。この大きな世界観をどう受けとめたらよいのだろうか。話はこのあと「柔道を通して」と続くのだが、それを自分の特技に置き換えてみるのも面白いのではないだろうか。(ヘースホールマガジン社・2400円) (体育・教授)

冬季欧州国際柔道大会

3人優勝 世界へ弾み

平岡、秋本、伊部に栄冠

全日本選抜へ向け好発進

今年9月にフランスのリオデジャネイロで開催される世界選手権の選考基準となる冬季欧州国際柔道大会が1月27日〜3月4日にかけて、ヨーロッパ9カ国で開催された。本学からは5人が出場し、60キロ級の平岡拓晃(当時体専4年)、66キロ級の秋本啓之(体専4年)が優勝。48キロ級では伊部尚子(同2年)が優勝、福見友子(同4年)が準優勝するなど、好成績を収めた。ベルギー大会に出場した藤田康恵(同2年)は2回戦で敗退した。



平岡拓晃



秋本啓之



伊部尚子

平岡は、1、2回戦を一本で勝ち進んだ。接戦となった準決勝を効果一つでかわし、決勝に進出した。決勝ではナシユ(ロシア)と対戦。開始40秒、小内巻き込みで一本勝ちを収めた。

平岡は大会を日本代表への布石と捉え、「絶対負けられない大会。だったという。今回は自分の柔道がすすむとできた。野村忠宏(ミキハウス)を倒して代表になりたい」と、4月の全日本選抜への抱負を語った。

フランス大会に出場した秋本は2回戦、アジア大会で敗れたツァカンバートル(モンゴル)と対戦した。前回同様、変形の組み手で攻めてくる相手に対し、秋本は決め手を欠いたまま延長戦へ。その後相手に消極的であるとして指導が入り、秋本が優勢勝ちした。3回戦以降も勝ち進み、決勝ではクンハー(ラジアル)と対戦。得意の背負い投げから袈裟固めをかけ、合わせ技一本で優勝を収めた。試合内容について秋本は、「成績を残してほっと

したが、内容はまだまだ攻めの気持ちが必要だ」と語った。4月の全日本選抜については、「66キロ級日本代表でも」気持ちはまだまだ挑戦者のつもりだ」と話した。

チェコ大会に出場した伊部は、決勝でドミトル(ルーマニア)と対戦した。試合序盤、技をかけたようにたごころを返されて効果を奪われたものの、その後大内刈りで立て続けに効果を2つとった。さらに大内刈りで技ありから押さえ込んで20秒、合わせ技一本で優勝した。

伊部は昨年、ロシアでのジュニア大会で優勝して以来の海外大会での優勝。4月には産休から復帰する谷亮子(トヨタ)と1回戦で当たるが、「練習あるのみ」と前向きに語った。

ドイツ大会に出場した福見は、決勝でパエト(フランス)と対戦した。「調子はあまりよくなかった」という福見。延長戦までもつれ込み、大内刈りで効果を奪われ、優勢負けした。アビールの場で負けたことと悔しそうに語った。

第21回サッカーフェスティバル

今季へ向け27大学集結

本学から5チームが参加

全国から27大学が参加する第21回全国大学対抗サッカーフェスティバルが3月13〜21日の9日間、本学のサッカー場で開催された。大会期間中には計110試合が行われた。本学からは5チームが参加した。

本大会は雪で冬の閉ラ

今回の試合は4月から始まるシーズンに向けてチームの仕上がりを試す機会でもある。今シーズンから主将としてチームを引っ張る今田傑(体専4年)は、目立つプレーは多くないが、攻守にわたって監督が信頼を寄せている。両サイドの麻生耕平(同4年)、西川優大(同3年)は攻撃的サイドバックで、サイドアタックが持ち味のチームで重要な役割を担う。



金沢大と本学との対戦。期間中は好天に恵まれた

記録ファイル

◆第48回日本短水路選手水泳競技大会(3月3〜4日、東京辰巳国際水泳場)
【男子】▽1500メートル自由形 3位・西尾裕樹(体専2年) 15分14秒83▽50メートル自由形 4位・島田翔平(同4年) 22秒51▽50メートル平泳ぎ 6位・岡崎晃一郎(同3年) 27秒72
【女子】▽50メートル自由形 6位・水落夏海 25秒73(同3年)

浅井武監督(体育・准教授)は「チーム全体の仕上がりがよそで順調。攻撃はまだ課題が残る」と話した。

た。趣味としてやっている。母親の影響だという。

その後、中学では全日本中学校バドミントン選手権シングルス2位、高校ではインターハイダブルス優勝など堂々たる成績を残してきた。

本学に進学したのは「憧れの脇田侑選手(平成18年度体専卒)と、阿部一佳総監督(当時・本バドミントン部V2)に貢献

村松瑞穂(体専4年)にとって、バドミントンには、単にオリンピックの高みへ向かうためのものではない。バドミントンは、自分自身を人間的にも成長させてくれる」と、バドミントンへの情熱を語る。

昨年のインカレ団体で本学の2連覇の原動力となり、自身もシングルスでベスト4入りを果たした。インカレ2連覇を成し遂げた感想を「東日本学生選手権で3位に終わったので、挑戦者のつもりでインカレに臨戦を合わせた。優勝できて素直に嬉しい」と話す。

小学校2年生の時にバドミントンに出会っ

「三洋電機のような」と強い人がいるとあくまで前向きだ。一度負けただ相手にはビデオを見て研究するなど負けず嫌いな面も持つ。

バドミントン部の吹田真士監督(体育・助教)は「球の飛び方向を瞬時に変えることができ、体や手首の使い方がうまい。日本一を目指してほしい」と期待をかける。

村松自身は「好不調の波を減らし、さらに精神的に強くなければ」と弱点克服に意欲を見せる。

4月には春季リーグ戦が開演する。「大学生最後のシーズン。モチベーションも高い」と話す。目標は日本一とインカレ団体3連覇だ。これらを成し遂げることで、「出場できたバドミントンをやめてもいい」という夢の五輪が見えてくる。

村松瑞穂の夢実現へのシーズンが今、開幕する。(本紙・水田武人「日本語・日本文化学類」)

V・チャレンジリーグ

サンガイア初参戦で4位



バレーボールの国内最高峰、V・プレミアリーグの下部リーグであるV・チャレンジリーグが、1月13日〜3月25日にかけて、つくばカピオ(つくば市竹園)などで開催された。本学のBと現役生で作る男子プロバレーボールチーム「つくばユニテッドサンガイア」は、2、3位と勝率で並ぶ4位で最終戦を迎えたが、2位の東京ヴェルディに敗れ、4位に終わった。

サンガイアは1月13日から始まったV・チャレンジリーグに初参戦した。初戦を白星で飾ったものの、序盤で3連敗。その後ミスを減らし、3月18日の試合までに9連勝、つくばでのホームゲームを迎えた。

ホームゲーム第1戦目の3月24日は、13勝1敗ですべて優勝を決めていたFC東京との戦いだった。第1セットを19-25で落としたが、三上圭治郎(当時体専4年)がアタックをいくつも決め、第2セットを25-21で奪った。第3、第4セットは30点を超える接戦となった。「少しのミスが出ると競り合いに負けた」と都

沢凡夫監督(体育・教授)。第3セットを29-31、第4セットを17-25で落とし、第2セットを26-28、第3セットを23-25と粘ったが一歩及ばず、0-3でストレート負けした。都沢監督は「勝った方が2位になるというプレッシャーから、セッターに負担がかかってしまった」と話した。

サンガイアは、スポーツを通じ、地域貢献活動を展開する「つくばユニテッド」(代表||秋原武久教授・体育)を母体とする事業の一つ。ホームゲームではつくばユニテッドバレーボールのジュニアチームの子どもたちを中心に応援も盛り上がりを見せた。

都沢監督は今リーグについて「チーム力がどのくらい伸びたかがポイント。来年は十分な練習を積み、V・プレミアリーグ入りを目指す」と話した。



首位のチームを相手に熱戦を繰り広げた(対FC東京戦で)

第3セットを23-25と粘ったが一歩及ばず、0-3でストレート負けした。都沢監督は「勝った方が2位になるというプレッシャーから、セッターに負担がかかってしまった」と話した。

サンガイアは、スポーツを通じ、地域貢献活動を展開する「つくばユニテッド」(代表||秋原武久教授・体育)を母体とする事業の一つ。ホームゲームではつくばユニテッドバレーボールのジュニアチームの子どもたちを中心に応援も盛り上がりを見せた。

都沢監督は今リーグについて「チーム力がどのくらい伸びたかがポイント。来年は十分な練習を積み、V・プレミアリーグ入りを目指す」と話した。

八木剛志さん(自然)デビュー

八木剛志さん(当時自然4年)がプロボクサーとして、ライト級からデビューした。デビュー戦は3月5日、後楽園ホール(東京・文京区)での、ゴールデンチャイルドカップ前座戦の初戦。財政経多(トクホン真闘ジム所属)と対戦し、惜しくもTKO負けした。

デビュー戦では第一ラウンド、出合い頭に相手のパンチを受けてダウンを取られたが、第三ラウンドではポイントとなるパンチを立続けに決めた。第三ラウンドで相手のパンチを受け、体勢を崩したものの、体勢を立て直し反撃した。しかし、レフェリーが早々に

つれ込み、大内刈りで効果を奪われ、優勢負けした。アビールの場で負けたことと悔しそうに語った。

今回の試合は4月から始まるシーズンに向けてチームの仕上がりを試す機会でもある。今シーズンから主将としてチームを引っ張る今田傑(体専4年)は、目立つプレーは多くないが、攻守にわたって監督が信頼を寄せている。両サイドの麻生耕平(同4年)、西川優大(同3年)は攻撃的サイドバックで、サイドアタックが持ち味のチームで重要な役割を担う。

浅井武監督(体育・准教授)は「チーム全体の仕上がりがよそで順調。攻撃はまだ課題が残る」と話した。

た。趣味としてやっている。母親の影響だという。

その後、中学では全日本中学校バドミントン選手権シングルス2位、高校ではインターハイダブルス優勝など堂々たる成績を残してきた。

本学に進学したのは「憧れの脇田侑選手(平成18年度体専卒)と、阿部一佳総監督(当時・本バドミントン部V2)に貢献

村松瑞穂(体専4年)にとって、バドミントンには、単にオリンピックの高みへ向かうためのものではない。バドミントンは、自分自身を人間的にも成長させてくれる」と、バドミントンへの情熱を語る。

昨年のインカレ団体で本学の2連覇の原動力となり、自身もシングルスでベスト4入りを果たした。インカレ2連覇を成し遂げた感想を「東日本学生選手権で3位に終わったので、挑戦者のつもりでインカレに臨戦を合わせた。優勝できて素直に嬉しい」と話す。

小学校2年生の時にバドミントンに出会っ

「三洋電機のような」と強い人がいるとあくまで前向きだ。一度負けただ相手にはビデオを見て研究するなど負けず嫌いな面も持つ。

バドミントン部の吹田真士監督(体育・助教)は「球の飛び方向を瞬時に変えることができ、体や手首の使い方がうまい。日本一を目指してほしい」と期待をかける。

村松自身は「好不調の波を減らし、さらに精神的に強くなければ」と弱点克服に意欲を見せる。

夢の五輪 日本一を目指す



4月には春季リーグ戦が開演する。「大学生最後のシーズン。モチベーションも高い」と話す。目標は日本一とインカレ団体3連覇だ。これらを成し遂げることで、「出場できたバドミントンをやめてもいい」という夢の五輪が見えてくる。

村松瑞穂の夢実現へのシーズンが今、開幕する。(本紙・水田武人「日本語・日本文化学類」)



宿舎入棟 今年度も暗証番号制で

静脈認証 テスト振るわず 認証率など課題残る

昨年10月から施設部が行ってきた静脈認証システムのテスト運用についての結果がまとまった。認証プログラムの修正などを繰り返したが、最終的に認証率は85%にとどまった。3月8日に全代会を交えて話し合いを行った結果、「認証されづらい人がどうしても発生し、それに対する完全なフォローを行うことは困難である」として、今年度も現行の暗証番号制で運用していくことが決まった。

テスト運用は施設部棟の玄関に認証機を設置し、施設部職員が朝夕の出退勤時に照合する形で、実日数94日間にわたって行われた。初期システムでテスト運用された最初の約1カ月間では、認証率が42・3%だった。その後、認証機を段階的に覆って遮光対策を施したり、認証プログラムの改良などを行った結果、認証率が向上した。しかし施設部が目標としていた「ほぼ100%の認証率」には及ばず、認証されづらい人も発生した。

この結果を踏まえて学生部、施設部、全代会、高橋健夫副学長(学生生活担当)を交えて話し合いが3月8日に行われた。その結果、認証されづらい人や、夜間に外に閉め出された人へのフォローを24時間体制で行った場合、予算などの負担があまりに大きいとして、今年度の全棟運用は見送られた。

今年度の運用計画としては、基本的に暗証番号制での運用を行い、希望者に対しては、静脈認証システムの登録を受け付ける。トラブルなどに対するフォローは、一昨年の全棟運用時と同様、玄関に設置された電話で係員がいつでも駆けつけられる体制で行うという。

施設企画課の神矢良知課長補佐は「宅配業者が玄関に入れないなど、課題は残されている」と語った。

静脈認証システムは04年の12月に、セフティプロジェクト(リーダー)直武博通副学長、総務・企画担当の部員が、練習中に意識を

学長表彰 看護学生と講師が受賞

本学屋内プールの水中で意識を失った筑波マリンダイビングクラブの部員を助けたとして、3月1日、黒田梨絵さん(看護4年)と伊藤聡講師(臨床)が学長表彰を受けた。

今年1月10日、同クラブの部員が、練習中に意識を

サークル部員の命救う

失うという事故が起きた。その時現場に居合わせた黒田さんは、伊藤講師と共に、気道の確保を行い、同部員を助した。伊藤講師が救急車を手配する間も、気道確保を続け、水を吐き出させるなど、救急隊員が到着するまで懸命な救助活動を行った。

黒田さんは2000年から6年間、看護師として勤務した経験を持つ。その間も、飛行機の中で熱性けいれんを起こした子どもの心臓処置を行うなど、緊急事態への対処は慣れてきた。また、ダイビングの経験も豊富で、東京大学のダイビングサークルで指導を行っていたこともあった。昨年4月には、筑波マリンダイビングクラブを見学に訪れていた。黒田さんは「マリンダイビングクラブの活動が無事再開でき、事故にあった部員の方も元気になって良かった」と語った。表彰については、「人として当たり前のことをしただけ。喜びよりも恐れ多いという気持ちの方が強かった」と謙虚に受け止めている。

伊藤講師も「表彰は光栄だが、病院搬送後、適切な治療を施してくれた医療スタッフにも感謝したい」と喜びを表した。



学長から表彰を受ける黒田さん(学長室で)

舞踏研究会

舞踏研究会は1975年に出来た、部員数117人のサークルだ。毎週水曜日と金曜日の2回、課外活動練習施設で活動している。彼らがやっている競技ダンスは、一般的に社交ダンスとして知られているものだ。

舞踏研究会の部員には、社交ダンスを業として始めた人が多い。「最初は鏡に映った自分の踊る姿を見るのも恥ずかしかった」と言う部員もいる。しかし、続けているうちにダンスの魅力に引き込まれていくのだと



見せるダンスを目指して

4月20日には大学会館のレストランでダンスパーティーが開かれる。実際に見て、かっこいいと思うことがスタートなので、新歓イベントで踊っているのを見てほしい」と真壁さんは言う。(本紙・篠崎真希II国際総合学類)

「試合ではダンスを業として踊る人を見てみたい」という部員もいる。しかし、実際に踊るとはまた別の世界がある。ダンスは、ただ踊るだけでなく、音楽の持つ力や、自分自身の感情を表現する手段でもある。ダンスを通じて、自分自身を表現し、他人とコミュニケーションをとることが出来る。それは、ダンスの魅力の一つである。

ジャーナリズム講座 講師にOB・OG記者 報道の最前線から学ぶ

本学のジャーナリズム教育の流れを後輩に伝えようと、今年度より3年間ジャーナリズム講座が開講される。オムニバス形式で、毎回、マスコミの第一線で活躍するOB・OGが授業を行う。全学対象で、学期完結型の科目として、社会学類開設の専門科目に位置づけられる。

本講座の講師は、87年に、新聞記者出身の教員、故・青木彰先生が、マスコミ志望の学生のために開いた。その流れは、天野勝文先生(元現代語・現代文化学系教授)の天野子良、濱降先生(元現公教授)の濱野は、テレビ、出版、新聞など多岐にわたる。例えば1学期の授業では、朝日新聞横浜支局の菊地功三さんが「事件報道の現在」というテーマで、デジタルコンテンツ局CS事業部の柴崎敦子さんが「テレビ制作の現在と多メディア化」という



一步足を踏み入れるとそこは異世界だった。ドアを開けると溢れ出るワルツの音楽。自身の体の隅々まで神経を行きわたらせ、部員たちは普段とは違う真剣な顔を見せる。

練習ではひたすら先輩に指摘されたポイントを繰り返す。姿勢や体重移動などを細かいことまで意識して、一つ一つ動きを体に覚えていく。音楽のカウントに体の動きを合わせるなど、どれも日常ではすることのない動きだ。石田聖恵さん(国総3年)は話す。高い技術を持つだけでなく、心から楽しんでやっている人たちがいる。それが、ダンスの魅力だ。

無料でダウンロードできるようにする予定だ。同ソフトは、03年7月に、登さんが本学情報学類のベンチャー企業「ソフトイサー」(本社つくば市、資本金2000万円)が4月1日、インターネッソフ「Packeetix」を、自社ホームページ上で公表した。半年間は

「ソフトイサー」は、本学が代表取締役を務める本学のベンチャー企業「ソフトイサー」(本社つくば市、資本金2000万円)が4月1日、インターネッソフ「Packeetix」を、自社ホームページ上で公表した。半年間は

「ソフトイサー」は、本学が代表取締役を務める本学のベンチャー企業「ソフトイサー」(本社つくば市、資本金2000万円)が4月1日、インターネッソフ「Packeetix」を、自社ホームページ上で公表した。半年間は

第33回やどかり祭

模擬店募集 27日まで

第33回やどかり祭(宿舍祭)が5月25、26日に開催される...

今年も、酒類の販売は同委員会の専売とする。

健康診断・体力測定 指定日にもれなく

07年度の学生健康診断が4月12-24日に行われる。

健康診断

研究生、特別聴講生、特別研究学生、科目等履修生は、各々が所属する研究科・学類の指定された日時...

体力測定

5月7-11日にかけて共通体育の授業時間内に屋内体力測定が総合体育館と球技体育館で行われる。

芸サ連合同イベント

「つくば芸術祭」開催

5月3-6日にかけて、筑波大学芸術系サークル連合会によるつくば芸術祭が開催される。

催事

新歓

「日本を見てみませんか?」第12回天上大風会、津軽三味線倶楽部無絃塾など計12団体によるライブが行われる。

展覧会

第8回立体地形の世界 4月15日まで、国土地理院「地図と測量の科学館」で入館無料。

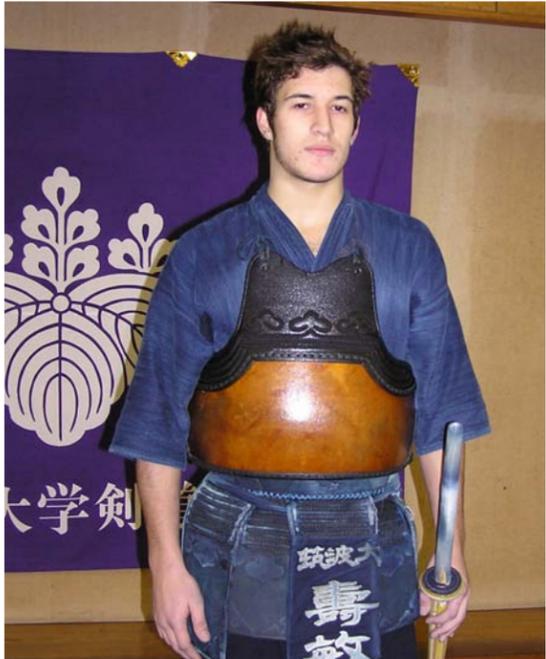
筑波自然図鑑

◇ヒドリガモ◇



日本で越冬する冬鳥で、春先までよく見られる。茶色い頭の中央が黄色く染まっているのが雄の特徴だ。

Who's Who?



剣道部のフランス人留学生

ジュビン・アントアン

さん (体専2年)

剣道部のフランス人留学生、ジュビン・アントアンさん(体専2年)が入試の面接で最近読んだ本として挙げたのは、『五輪書』だった。

サムライ魂抱き来日 武道の聖地 筑波で修行

クリストファー・ヤン選手(98-99年本学在籍)も、剣道を始めたきっかけはマンガ『五輪書』だった。

「筑波」に憧れたという。「対人競技は強い相手や指導者がいないと強くない」。本場日本に来てやりたいという思いは昔からあった。

次号は

5月14日(月)

発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

Table with 2 columns: Rank (1-10) and Book Title/Author/Publisher.

3月の1位は、本学出身の青山七恵さんの第136回芥川賞受賞作『ひとり日和』。